

Grade 1

例 1



局所反応所見

針痕部の発赤のみ

例 3



例 2



Grade 2

例 1



局所反応所見

針痕部の発赤および針痕部周辺の皮膚の発赤が見られる

例 3



例 2



Grade 3

例1 (16個)



局所反応所見

針痕部に硬結が認められる
() は所見が認められる針痕数

例2 (14個)



例3
(18個)



Grade 4

例1 (7個)



局所反応所見

針痕部に化膿疹が認められる
() は所見が認められる針痕数

例2 (9個)



例3
(12個)



Grade 5

例 1



局所反応所見

針痕部に痂皮形成 or 浸出液の漏出が 1～9ヶ所認められる

例 2



例 3



Grade 6

例 1



例 2



局所反応所見

針痕部に痂皮形成 or/and 浸出液の漏出が 10ヶ所以上認められる

例 3



例 4



コッホ現象陽性の経過

接種4日目：Grade 3 (14)



() 硬結のある針痕数

接種6日目：Grade 3 (14)



接種25日目：Grade 5 (4)



() 浸出液漏出がある針痕数

事例1 (非直後型)

<ツ反結果：中等度陽性(++)>

$\frac{4 \times 4}{15 \times 11}$ [硬結径/発赤径]

接種7日目：Grade 4 (18)



() 化膿している針痕数

接種13日目：Grade 4 (18)



接種60日目：Grade 4 (18)



事例2 (非直後型)

<ツ反結果：強陽性(+++)>

$\frac{2 \times 2}{7 \times 7}$ (15 × 12)

[硬結径/発赤径 (二重発赤径)]

接種 5 日目 : Grade 5 (1)



() 痂皮形成のある針痕数

接種 7 日目 : Grade 5 (6)



事例 3 (直後型)

<ツ反結果 : 中等度陽性 (++) >

$\frac{3 \times 3}{9 \times 16}$ [硬結径 / 発赤径]

接種 85 日目 : Grade 2



接種 7 日目 : Grade 4 (18)



() 化膿している針痕数

接種 9 日目 : Grade 6



事例 4 (直後型)

<ツ反結果 : 強陽性 (+++) >

$\frac{7 \times 6}{7 \times 6}$ (27 × 20)

[硬結径 / 発赤径 (二重発赤径)]

接種 70 日目 : Grade 6



3 コッホ現象類似の局所反応

「コッホ現象類似反応」では、コッホ現象と同様に接種後1、2日という早期に局所に反応が生じ、その後急速に反応は治まるが、約2週間後には再び発赤、腫脹などが出現し、その後は正常の場合と同様の経過を示す。(二相性の反応) この場合、ツ反は陰性である。

Grade 2 (発赤+周辺発赤)		Grade 1 (発赤)	ツ反陰性
	事例1		
接種3日目	→	接種5日目	
Grade 3 (硬結)		Grade 1 (発赤)	
	事例2		
接種3日目	→	接種5日目	

Grade 3 (硬結 10 コ)		Grade 1 (発赤)	ツ反陰性
	事例3		
接種2日目	→	接種4日目	
Grade 3 (硬結 15 コ)		Grade 1 (発赤)	
	事例4		
接種2日目	→	接種7日目	

